

校長講話 10

令和5年 6月12日（月） 全校朝会

野尻 史子

おはようございます

先週土曜日、いのちのコンサートがありました。楽しかったですね。緑川まりさん、けんさんの歌声は、マイクがなくても、体育館中に響いていました。るみ先生のピアノも、本当にすばらしかったです。でも、あのコンサートでいちばんすてきだったのは、最後にみんなで歌った「ゆうき げんき 力」の全員の歌声だったと思います。まり先生の発声練習のおかげか、いつもに比べても本当にすばらしかった。るみさん、まりさん、けんさん、三人とも、とってもほめていましたよ。岩小の子供たちはとっても歌が上手。また来たいです。と言ってくれました。いつかまた、お会いするのを楽しみにしましょう。そして、今年は音楽会の年ですから、教えていただいたことを忘れず、あのすてきな歌声に近づけるようにがんばりましょう。

るみ先生のお話の中で、大事なことが二つありました。覚えていますか。

一つは、元気そうに見えて、るみ先生のように、大きな手術をしたことのある方だったり、少し前まで入院していた方だったり、、、外から見ただけでは分からぬことがあります。だから、どんな人のことでもぶつたり、いじわるをしたりしないでね。ということ。

ちょっと具合が悪いけれど、かんばって学校にきている友達もいるかもしれません。誰にでも優しくすることができれば、そういう友達にも、自然と「大丈夫？」と声をかけてあげることができますよね。岩淵のわは、わたしもあなたも大切。だれにでも優しい人になりたいですね。

もう一つは、あきらめない心をもって、最後までがんばることはすてきなこと。あきらめてしまったら、自分が本当にしたいこともできない。ということでした。

岩淵のちは 力いっぱいチャレンジ。大きな手術を乗り越えて、今もすばらしい演奏をしている るみ先生をお手本にして、さいごまであきらめずにがんばる気持ちを大切にしましょう。まわりの人も、誰かががんばっているときは、いっしょに応援してあげましょう。その人の一言が、がんばる力になって、努力を続けることができる と言うこともあるはずです。

これから的生活の中で、心がけていきましょう。

さて、今日はもう一つ、先週の出来事についてお話しします。

先週は、6年生が、今年度二度目のあいさつ運動に取り組んでくれました。毎朝、青門から回ってくる人たちと、赤門から登校する人たちに向かって、「おはようございます」と元気に声かけをしてくれました。1年生から5年生も、それに応えて元気にあいさつを返していました。6年生のみなさんのおかげで、また、岩淵小に、すてきなあいさつがふえました。どうもありがとう。6年生は、あいさつ運動でなくても、自分からすすんで、これからも先生や下級生にあいさつのお手本を見せてください。他の学年のみなさんも、あいさつは いつでも 先に つづけて いきましょう。お話を終わります。